



バンコク便り



1. はじめに

世界全体で新型コロナウイルス（COVID-19）の影響が出ている中、2月23日、タイ保健省は、中国や日本、シンガポール等からの入国者に対して、14日間の自己観察（自宅待機）期間の設定について協力を求める等の指針を発表しました。つきましては、タイに滞在中の方、またこれからタイへの渡航等をお考えの方は、外務省海外安全情報（<https://www.anzen.mofa.go.jp/>）、在タイ日本国大使館ウェブサイト（<https://www.th.emb-japan.go.jp>）やタイ保健省ニュース（英語、毎日更新：ddc.moph.go.th）等の各ホームページをチェックするなど新型コロナウイルスに関する最新情報の収集に努めてください。マスクの持参もお勧めいたします。

2. 当地ビジネス情報

（自動車生産台数と景況感）

タイ工業連盟が発表した2019年の自動車生産台数は201万3,730台（前年比△7.1%）でした。2年連続で200万台越えとなっており2020年も同水準と予想される一方で、2019年12月の自動車生産台数は前同月比△20.8%となり8ヶ月連続で前年同月を下回りました。米中貿易摩擦やパーツ高、新型コロナウイルスによる世界経済の悪化など、今後の対応について検討が必要となる見込みです。

またカシコンリサーチセンターでは2020年の自動車生産台数について、新型ウイルスの影響で190万台（前年比△6.0%）に縮小、新車販売についても最大で90万台（前年比△11.0%）と予測しています。

盤谷日本人商工会議所(JCC)とJETROバンコク事務所がJCC理事企業47社に実施した調査では、約60%の企業が自社業績への影響見込みとしてマイナスや多少のマイナスの影響があると回答するなど、在タイ日系企業間でも新型コロナウイルスの影響が懸念されています。

2019年1～12月の自動車生産台数					
輸出		国内販売		合計	
台数	増減	台数	増減	台数	増減
1,037,164	△9.2%	976,546	△4.7%	2,013,710	△7.1%

出所：タイ工業連盟

3. 現地トピックス

（①バンコク山形県人会の懇親会）

今年初のバンコク山形県人会の懇親会が2月11日に開催されました。日本からは東京五輪ホストタウン交流のためにタイを訪れていた佐藤孝弘山形市長御一行をお迎えし、総勢約40名が集まる盛大な懇親会となりました。皆さん親睦を深め近況について話をしていましたが、ビジネスの情報交換なども行われ活気に溢れていました。またゲストとして、蔵王からオリンピック出場を目指しているスノーボーダーのナタポン選手も参加し、県人会としても彼の活躍にエールを送りました。

懇親会の前には山形県タイ友好協会経済セミナーとして、元JETROバンコク海外投資アドバイザーの長谷場様（県タイ友好協会会員）からタイの経済情勢と日本企業の展開等についてご講演いただくなど、タイへの理解を深める大変貴重な機会となりました。



懇親会後の記念撮影

（②山形で撮影！ダンドゥアンハルタイ発表セレモニー）

2月13日、3つの国の動乱や王族達の恋愛模様を描いたタイの大型ドラマ「ダンドゥアンハルタイ」（3/5から全24話）の発表セレモニーがバンコクのショッピングモール、サイアムパラゴン前広場にて行なわれました。セレモニー開始前から多くの人が集まり、タイ人にとっても期待値が高いドラマとなっているようです。3つの国のうちの1つとして随所に山形の景色が登場し、YouTubeなどでも配信されるため、ぜひご覧になられてはいかがでしょうか。ドラマをきっかけにタイで山形の知名度が一気に高まり、聖地巡礼として多くのタイ人観光客が山形へ来る日が楽しみです！



山形での撮影を振り返る出演者達

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務 G 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）